

井尻公民館だより

(2023年8月1日発行)

<令和5年8月号>

(第233号)

<連絡・問い合わせ先> 館長 窪田 道忠 ()
主事 相澤陸奥実 ()

川かぜや薄がききたる夕すずみ 松尾芭蕉



絵手紙愛好会

篠原勝利

本格的な夏の本番に入ってきています。皆さん置かれては暑さに負けず健康に留意し熱中症には特に気をつけましょう。

近年は気象衛星による天気予報の正確が増し何日か前からでも映像で知ることが出来る時代となってきました。

7月には、九州地方、日本海側地域、富山、秋田での線状降水帯の発生による豪雨大被害が、一日で一ヶ月分の降雨になったなどと、天気予報通りとなってしまっていて河川水路の氾濫をまねいてる現実があり防げるものではありません。

「何十年に一度」「大雨避難命令」など多回に報道されてもそれが慣用句になってしまっていて、此処だったら大丈夫

だから、大した事はないと思い、不安を消し行動を起こさない「正常性バイアス」となります。未経験で理解が難しい事であるが、最悪の事態を想定して予測行動することを常に、意識を持ていましょう。

ひまわりはキク科の一年草の植物。原産地は北アメリカ大陸西部であると考へられている、既に紀元前からアメリカの先住民の食用作物として重要な位置を占めていた。

和名は(向日葵)、17世紀日本に入ってくる太陽の動きを追うと言われるが、追うのは成長が盛んな若い時期だけ。

生産量はウクライナがトップ

ウクライナ侵攻の今、映画ひまわり(1970)が再注目。



8月の行事予定

井尻地区食生活改善推進委員会

りょうりきょうしつ
こども料理教室のお知らせ

令和5年7月
井尻地区食生活改善推進委員会

ねん りょうりきょうしつふっかつ
4年ぶりになつやすみのこども料理教室復活です！
みんなで参加してくださいね！お待ちしております。

にお じ れいわ ねん がつ にち きん ごぜん じ
日 時：令和5年8月18日（金） 午前10時から

ば しょ いじりこうみんかん ちょうりしつ
場 所：井尻公民館 調理室

もちもの さんかくきん すい
持ち物：エプロン・三角巾（バンダナ、スカーフなど）・マスク・水とう
(アレルギー対応はしていません。食材についてはお問い合わせ下さい。)

「塩山式手ばかり」をつかって
えいようバランスのよいメニューで
おべんとうをつくってみよう!!

【メニュー】

- ★かんたん 簡単さけフレークのおにぎらず
- ★カリコリサラダ
- ★ふっくらこぶき芋
- ★とろとろ中華スープ

すでに、このパンフレットは、7月に学童には配布されております。
申し込みは7月21日（木）までとなっていましたが、**8月5日（土）**までに
延長としましたので、まだ申し込みされていない方が有りましたら、お受けし
ます。お子達にお話してみてください。夏休みの楽しい思い出になりますよ。

申し込み先は、食生活改善推進委員までご連絡ください。

矢崎明美 ☎ () 18時～21時にお願いいたします。

公民館活動

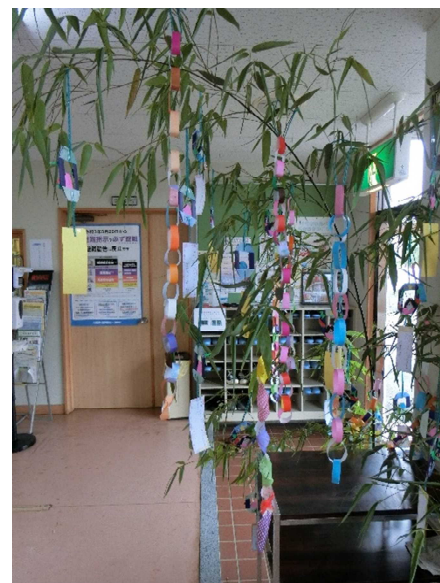
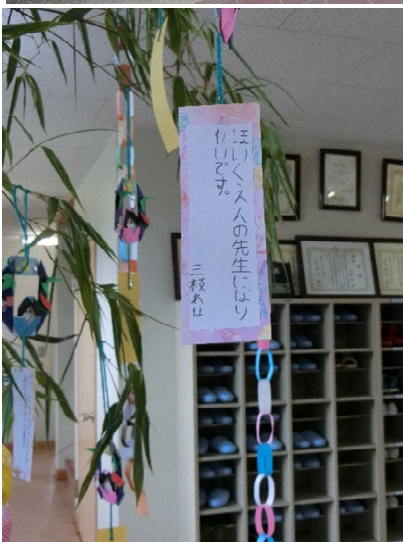
コロナも「5類」扱いに変わり我々の日々の日常生活も落ち着いて来ております。公民館活動に於いて、各愛好会を中心に活動が行われております。夜間が多い状況ではありますが、皆さん楽しんでおります。

公民館では児童クラブに場所の提供をも行っております。低学年の子達 30 名位、児童クラブ室が狭いためホールも開放しており、宿題、ゲーム、本を読んだり、DVD など、鶴田・曾根両先生の指導の基で楽しく時間を過ごしております。

公民館では地域の皆さんに気楽に利用して頂きたく思っていますので宜しくお願いいたします。



児童クラブの活動



(川柳)

(井尻公民館川柳愛好会) 2023/5/26

- 存在が空気のようにであれば良い (久保 晃)
- 会話中一人空論場が白け (三井厚子)
- 空腹を満たしてくれた祖母の愛 (田辺たみ子)
- 空見上げ昇る煙にしのぶ人 (古屋典子)
- 空返事思わぬツケが待っていた (雨宮江身子)
- 少しだけ空が近づく八合目 (石垣まさ子)
- 空青く気持ちよい日のウォーキング (中村廣二)
- G7核廃絶は空言か (関口正次)
- 空論に酔って会議が踊り出す (飯島武志)

(川柳)

(井尻公民館川柳愛好会) 2023/6/23

- 忙しげに見える動作も無駄多し (久保 晃)
- 農繁期忙しくても厚化粧 (三井厚子)
- バイキングせわしいけれど楽しいな (田辺たみ子)
- 忙しい時に限って用が増え (古屋典子)
- 言い訳に便利に使う忙しい (雨宮江身子)
- おひまでも忙しくても逢いに来て (石垣まさ子)
- 農作業忙中閑あり一休み (中村廣二)
- メールより忙しくとも真の声 (関口正次)
- 若者の指はスマホで超多忙 (飯島武志)

(俳句)

(井尻公民館俳句愛好会) 2023/7/10

- 手花火や遠き日語る父も居て (飯島武志)
- 幼名で呼ばれる夕べ鳳仙花 (野村可ね子)
- 鳳仙花反って弾けて還る土 (飯島和子)
- 手花火の荒らがる裾に膝小僧 (増田英仁)
- ワグネルの反乱線香花火かな (小林昂平)
- 薄物を羽織りて昼寝夢心地 (三森美恵子)
- 鳳仙花太きお下げや姉二人 (鶴田光子)
- 触れる手におもい弾ける鳳仙花 (三柵 淳)
- 線香花火ポツリと落ちて夜の闇 (小笠原一子)

(短歌)

(古屋和子)

- 文月の十八日は逝きし夫の (古屋和子)
- 誕生日なり写真と話す (久保 晃)
- 桃・ぶどう人に聞きつつ作業をし (久保 晃)
- 半年が過ぐありがたきかな (久保 晃)
- 梅雨さ中山峡走る車窓から (久保 晃)
- 霧に山山見え隠れせり (久保 晃)
- 雲破れ差し込む光一本の (久保 晃)
- 槍思わせる山峡の朝 (久保 晃)

お詫びします、申し訳ありませんでした。

七月の川柳作品の掲載に誤りが有りました、六月に掲載した作品を再び載せてしまいました、正しくは右の5/26の作品です。